



議会 だより

No.66 2022年8月5日発行

おもな内容

令和4年第2回市議会定例会	・ P2 ~ P3
常任委員会審査報告	…………… P4 ~ P5
一般質問	…………… P6 ~ P13
常任委員会調査報告ほか	…………… P14
政務活動費ほか	…………… P15
市民の声	…………… P16
読者の声	…………… P17
市議会クイズ、編集後記	…………… P18



「ひとやまちを結ぶシンボルブリッジ」(大島大橋)

撮影: 荒木 吉登 議員

本誌に写真を掲載しませんか?

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。

令和4年第2回議会定例会

会期：令和4年6月10日～6月24日(15日間)

定例会の概要

第2回定例会では、議案25件（報告18件含む）が提出されました。（3ページ参照）

議案のうち各常任委員会に付託された7議案（条例案・補正予算案・その他議案）は各常任委員会において、慎重に審査されました。（4、5ページ参照）

各常任委員会の付託内訳

総務文教常任委員会…3件
産業建設常任委員会…2件
厚生常任委員会…1件
予算決算常任委員会…1件

閉会中の継続調査は、産業建設常任委員会から「農業基盤整備を契機として生産拡大及び人口増加を達成した先進事例について」、厚生常任委員会から「西海市における医療と介護の連携の取組みについて」の申出があり、決定されました。

《会期日程》

6月10日

開会
会議録署名議員の指名
会期の決定
諸報告
議案上程・提案理由説明

6月14日

一般質問（4人）

6月15日

一般質問（4人）

6月16日

一般質問（5人）

6月17日

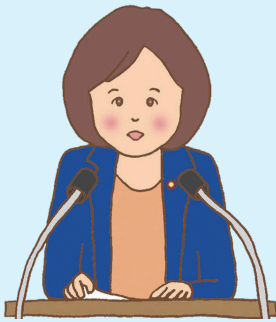
委員会付託
委員会審査
（総務文教・産業建設・厚生）

6月20日

予算決算常任委員会

6月24日

委員長報告
委員長報告に対する質疑
討論・採決
閉会



令和4年第2回議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	付託委員会等	議決の結果
報告第5号	西海市税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第6号	西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第7号	西海市介護保険条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第8号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第12号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第9号	令和3年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第10号	令和3年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第11号	令和3年度西海市介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第12号	令和3年度西海市水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第13号	令和3年度西海市下水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について	本会議	承認
報告第14号	令和3年度西海市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第15号	令和3年度西海市工業団地整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第16号	令和3年度西海市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	本会議	報告済み
報告第17号	令和3年度西海市水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	本会議	報告済み
報告第18号	令和3年度西海市工業用水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	本会議	報告済み
報告第19号	令和3年度西海市下水道事業会計予算の繰越額の使用に関する計画について	本会議	報告済み
報告第20号	向島児童公園における負傷事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
報告第21号	令和2年度決算に係る財務書類4表の報告について	本会議	報告済み
報告第22号	令和4年度西海市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	本会議	承認
議案第31号	西海市都市計画審議会条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第32号	西海市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第33号	西海市多目的船舶の運航及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第34号	西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第35号	西海市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第36号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	産業建設	原案可決
議案第37号	令和4年度西海市一般会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決



総務文教常任委員会

審査件数

3件

議案第31号 西海市都市計画審議会
条例等の一部を改正する条例の制定
について
原案可決

この議案は、令和4年4月1日付
けの事務分掌の見直しに伴うものと
所管部署の表記の統一を図るもので
す。

議案第32号 西海市消防団条例の一
部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、西海市消防団条例の
一部を改正するもので、消防団が会
議等で出席した場合の費用弁償に関
し、車賃支給について、市の特別職
の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に
関する条例を引用して、他の特別職
と同様の措置とするための改正を行
うものです。

議案第33号 西海市多目的船舶の運
航及び管理に関する条例の一部を改
正する条例の制定について
原案可決

この議案は、多目的船の新船竣工
にあたり、船舶の名称を「はやて3号」
に変更するほか、使用申請書の名称
を「多目的船舶使用申請書」に改める
ものです。

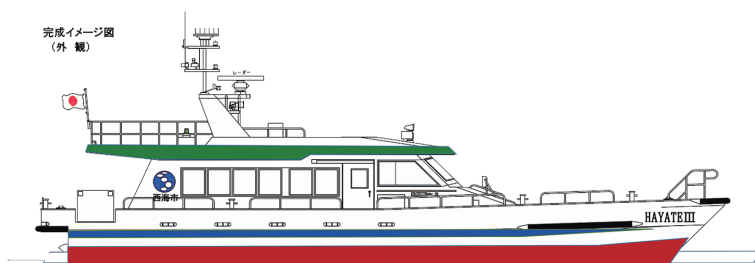
質疑

知床観光船の事故を受け、

救命具はどのようになっているのか
伺う。

答弁

救命胴衣の設置と救命の浮
環（浮き輪のようなもの）を2つ、救
命浮機（大きな板に22名までが捕ま
つてのれるイカダ）を設置予定であ
る。なお、救命ボートは1機100万
円以上するため、補正予算等で対応
していく。



はやて3号完成イメージ図

産業建設常任委員会

審査件数

条例案 1件
その他議案 1件

議案35号 西海市営住宅管理条例の一
部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、老朽化により用途廃
止した「蛤団地」、「徳万団地A1・
B6」及び「釜浦単独住宅」を別表か
ら削除するため、所要の改正を行う
ものです。

質疑 廃止する市営住宅の解体計
画について伺う。

答弁 蛤団地は令和4年度に解体
を設計し、令和5年度に解体する。ま
た、徳万団地は現在解体工事中であ
り、釜浦単独住宅は、令和4年度に解
体する予定である。

議案36号 あらたに生じた土地の確認
及び字の区域の変更について
原案可決

この議案は、公有水面埋め立てに
より、西海市大島町において、あらた
に土地が生じ、これを確認することと
もに、字の区域の変更を要すること
になったので、地方自治法の規定に
より、議会の議決を求めるものです。
質疑 あらたに生じた港湾施設用
地について、主に寺島や大島の大崎
漁業協同組合関係者が利用するもの
と理解してよいか。

答弁

この港湾施設の利用につい
ては、県と大崎漁協の取決めの下、割
り振りや利用の手助けなどについて
は、大崎漁協を経由する形になる。
また、船舶の係留については、市が、
許可を出している。

航空写真



位置図



厚生常任委員会

審査件数

条例案 1件

議案第34号 西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことにより、個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長等を行うため所要の改正を行うものです。

質疑 住宅借入金等特別税額控除の影響額は。

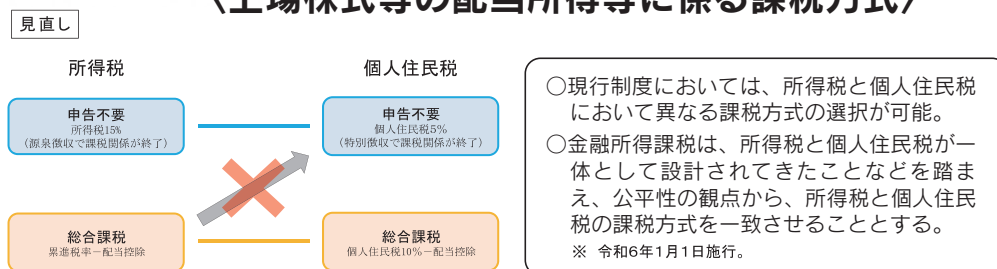
答弁 把握していないが、令和3年分課税に対する控除額は総額で約1390万円であった。なお、減収額については、地方特例交付金により全額国費補填される。



質疑 上場株式等の配当所得等に係る課税方式の改正は、施行日が令和6年1月1日となっているが、何年の申告から適用されるのか。

答弁 令和5年分の所得に対して、令和6年度の課税から適用される。

〈上場株式等の配当所得等に係る課税方式〉



※ 上場株式等の配当所得等については、上記の申告不要及び総合課税に加え、申告分離課税が選択可能。

※ 上場株式等の譲渡所得等については、申告不要と申告分離課税の選択が可能。

予算決算常任委員会

審査件数

補正予算案 1件

議案第37号 令和4年度西海市一般会計補正予算(第2号)
原案可決

補正前 217億2551万3000円
追加額 2億1585万7000円
補正後 219億4137万円

◎一般コミュニティ助成事業

自治会の備品や設備等の整備更新事業に対し、(財)自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用した補助金を交付するもの。280万円

◎証明書発行機導入事業

マイナンバーカードを利用した証明書発行機を七釜郵便局に設置するもの。

841万8000円



◎低所得子育て世帯生活支援特別給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して給付金を支援するもの。3290万6000円

◎ながさき型スマート産地確立支援事業

県の事業を活用して機械導入の費用等に対する補助を行い、農業所得向上を図るもの。

1977万9000円

◎質疑 具体的な事業内容は。

答弁 県の施設園芸産地スマート化事業を活用し、イチゴハウスの環境測定装置、炭酸ガス発生装置、自動換気装置などの機器導入の費用等を補助し、農業所得及び品質の向上を支援するもの。

◎【新規】カキ養殖事業継続緊急支援事業

カキ養殖業について環境変化の影響等により収獲量が低迷し厳しい状況であることから、事業継続に向けた緊急支援として、カキ種購入費用の補助を行うもの。240万円

◎質疑 補助の対象者は。

答弁 漁協組合員の生産者41名を対象としている。

◎【その他の事業費】

◎【新規】「住んでよし・訪れてよし」のまちづくり応援事業など

一般質問

今定例会で一般質問した議員は13人でした。



一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。
スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。

一般質問とは？



市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再

質問を含む）の

持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名

質問事項

1.
荒木 吉登
議員

- ・成年年齢引き下げを踏まえた、消費者教育について
- ・大村湾沿岸における漁業の復興・再生について
- ・西彼杵道路（大串白似田バイパス）の新規事業化に伴う、インターチェンジ配置予定地域の振興について

2.
瀧瀬 栄子
議員

- ・消費税のインボイス制度導入について
- ・消防団の処遇改善等について
- ・小・中学校トイレに生理用品を設置することについて

3.
西川 勝則
議員

- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策について
- ・西海市シルバー人材センターについて
- ・学校給食費の徴収に関する公会計化について

4.
百岳 一彦
議員

- ・「脱炭素社会に向かうまち西海市」について

5.
打田 清
議員

- ・防犯対策について
- ・西海市消防団について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について

6.
渡辺 督郎
議員

- ・みどりの食料システム戦略について
- ・白浜バス停の建替え及び併設されている公衆トイレの改修について
- ・西浜バス停付近への横断歩道設置について
- ・線状降水帯予測について

7.
佐嘉田敏雄
議員

- ・農業競争力強化基盤整備事業について

順番・氏名

質問事項

8.
田川 正毅
議員

- ・脱炭素社会の実現に向けての取組みと進捗状況について
- ・防災体制について

9.
平井 満洋
議員

- ・行政区長からの要望書について
- ・公用車のリース化について
- ・公共工事における工期の設定について

10.
小嶋 俊樹
議員

- ・景観法の実施について
- ・西海市における農業の将来について

11.
片山 智弘
議員

- ・SDGsの取組みについて
- ・商工観光におけるデジタルマーケティングについて
- ・歴史・文化の解説サインについて
- ・姉妹都市について

12.
杉山 誠治
議員

- ・西海市国民健康保険はり・きゅう等の施設の利用に関する規則について
- ・松枯れ対策について

13.
戸浦 善彦
議員

- ・人口減少・少子高齢化による介護人材不足について
- ・人口減少・少子高齢化により増加する空家の活用について
- ・人口減少・少子高齢化により生徒数が減少した市内県立高等学校の活性化について
- ・人口減少・少子高齢化により増加する耕作放棄地対策について



《消費者相談窓口》

西海市消費生活センター
TEL.37-0145
平日(午前8時30分から午後5時まで)
消費者ホットライン「188(いやや)」
土・日・祝日



消費者庁イラスト集より

問 成年年齢に達した以後も地域、家庭、職域等において、ライフステージに応じた消費者教育を受ける機会を提供する必要があると考えるが、市としてどのように取り組んでいくのか伺う。

市長 消費者被害の救済や相談業務と併せ、消費者被害未然防止のための教育を実施している。具体的な取組としては、西海市まちづくり出前講座のメニューの中に「だまされるのは188(いやや)」と題して、最新の消費者トラブル事例を紹介しながら、子どもから高齢者まで被害に遭わないためのポイントを説明する出前講座を行っている。



あら き よし と
荒木 吉登 議員



成年年齢引き下げを踏まえた、
消費者教育について

大村湾沿岸における漁業の
復興・再生の活性化について

問 大村湾沿岸の漁業全体が、湾内の環境劣化、漁業者の高齢化や後継者不足により存続の危機に瀕している。漁業者、行政、沿岸住民が一体となり早急に対策を講じるべきと考えるが、対策を伺う。

市長 これまで国、県事業を活用した漁業従事者の確保・育成支援に加え、市独自でも支援策を行ってきたが、今年度からは、さらに研修終了後3年間の生活費支援や、研修生を指導する受入れ漁業者の研修環境整備に対する支援等を拡充した。今後とも、漁協、漁業者をはじめ、関係する皆様と一体となり、大村湾沿岸の漁業の復興・再生に努めていく。

西彼杵道路(大串白似田バイパス)の
新規事業化に伴う、インターチェンジ
配置予定地域の振興について

問 インターチェンジの配置予定地周辺では、居住ニーズが高まることから考えられる。定住促進政策として、当該地域における荒廃農地や耕作放棄地を住宅建築に利活用する施策を実施する考えはないか。

市長 昨年関係部局の職員で設置した住宅政策プロジェクトチームでも、西彼杵道路延伸を視野に入れた検討もしており、利便性が高まる西彼町南部の国道206号線沿線は、施策の展開エリアとして位置づけている。



ふち せ い こ
瀨 栄子 議員



消費税のインボイス制度
導入について

問 シルバー人材センターへの影響を、どのように捉えているか伺う。

市長 取扱いによって、売上げの減少や会員の減少などへの影響が危惧される。

問 市内の免税事業者への影響は。

市長 仕入税額控除が適用できないことを理由に、取引先から敬遠されたり、値下げを求められたりする可能性があることに加え、事業者自身の新たな税負担が生じるなど、影響は幅広い業種に及ぶと認識している。

問 日本商工会議所、日本税理士会連合会、全国商工団体連合会等は、インボイス制度導入の中止や延期を求めているが、市長の見解を伺う。

市長 市内事業者への周知を最優先に関係団体の意見を伺い検討する。

消防団に対する理解の促進
について

問 消防団の役割の広報強化は。

市長 消防団の役割、やりがいや処遇等が伝わるような広報を積極的に行い、これまでに消防団への入団につながるような広報に努める。



問 無火災表彰の取組は。

市長 分団が管轄する区域において一定期間、火災の発生が無かった場合に、その分団を表彰する制度の導入について取り組んでいく。

小・中学校のトイレに生理用品を

問 令和3年第3回定例市議会で、学校トイレへの生理用品設置について質問したが、改めて設置できないか伺う。

教育長 前回の質問後、試験的に設置した小学校の高学年の児童から「トイレにいつも置いてあることで安心感がある」との感想が寄せられた。「安心感」は学校生活において大切であることから、生理用品を定期的に交換できない児童生徒のために、各学校の状況を把握しながら、トイレへの生理用品の設置を進めていく。



にし かわ かつのり
西川 勝則
議員



原油価格・物価高騰等総合 緊急対策について

問 市としてどのような対策を実施するのか伺う。

市長 本年4月に臨時交付金を拡充するコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分が示されたことから、市民や事業者に対して講じる対策について、関係部署と連携して実施計画を作成している。現時点では、農業、畜産業、水産業の一次産業・宿泊業者等に対する支援、学校給食費の子育て世帯に対する負担軽減支援などを検討している。当該臨時交付金の申請手続は、7月末のため、7月以降に係る予算を議会へ提出したいと考えている。

西海市シルバー人材センター について

問 当センターの事業推進とさらなる運営基盤強化のため、新たな事業発注を含めた支援ができないか伺う。

市長 令和3年度は人件費450万円、管理費123万9000円、

サポート事業に係る事業費720万円を補助金として支出することで支援を行った。新たな事業発注を含めた支援については、市が新たに委託する業務について、当センターの活用ができないか各部署で検討を行う。

問 今後、指定管理等で事業者が変更となった場合の当センターの活用について伺う。

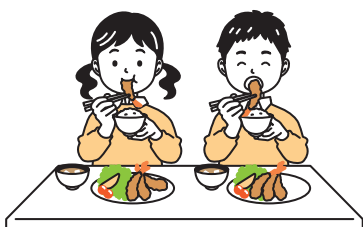
市長 事業者の事情等もあると思うが、雇用を維持していただくように努力する。

学校給食費の徴収に関する 公会計化について

問 教員の業務負担軽減のため、学校給食費を公会計化する考えはないか伺う。

教育長 本市においては学校給食会に委託していることから、現状の徴収方法により十分に対応できているものと考えている。

教育次長 今後、口座引落とし等の徴収方法については、学校単位で、PTAの総意があれば、給食会の事務局と教育委員会において協議する。



脱炭素社会に向かうまち 西海市について



ひやくたけ かすひこ
百岳 一彦
議員



問 市長が「脱炭素社会に向かうまち西海市」を政策の柱とし、カーボンニュートラルに取り組むことを決意したきっかけと理由を伺う。

市長 日本政府は、「2050年カーボンニュートラル、二酸化炭素排出ゼロ、脱炭素社会の実現を目指す」とことを全世界に向けて宣言したことによって、国内外の動向、特に国内企業のカーボンニュートラルに向けた取り組みが一気に加速化していくと判断したことが決意したきっかけである。カーボンニュートラルに取り組む理由は、本市には江島沖洋上風力発電という再生可能エネルギー導入の取組み、GENESIS松島計画という二酸化炭素の排出量を大幅に削減する画期的な技術、さらに豊富な山林資源があり、この大きなアドバンテージを最大限に活用して、日本エネルギー政策目標である脱炭素社会の実現に貢献しながら、長期的視点に立ったまちづくりの柱にな

り得るものと確信しているからである。

問 具体的にどのような計画で、脱炭素社会の施策を展開していくか伺う。

市長 本庁舎や各公共施設への太陽光発電設備の設置による再生可能エネルギーの活用や電気自動車の導入、充電スタンド設置などインフラ整備を行う。また、緑の産業分野では、二酸化炭素の吸収源対策として、森林の健全な育成を推進するとともにセシダン等の早生樹植林を行う。

問 市民の関心を高める施策をどのように進めていくのか伺う。

市長 市民に対し、定期的にわかりやすい情報を届けることを目的として、広報さいかいへの隔月掲載や新産業推進課インスタグラムによる投稿を開始した。ゼロカーボンの取組みを拡散する人材の発掘と人材育成セミナーの開催も予定している。西海市全体の脱炭素意識の高揚と行動の習慣化につながるように、積極的に取り組んでいく。

問 電気自動車を購入する際の費用の一部を負担する独自の補助制度を新設してはどうか。

市長 電気自動車が普及すれば、環境への影響を軽減することはもちろん防災対策の効果も期待されることから、実効性のある取組みとして、電気自動車の市民・事業者への普及促進に向けて、早急に検討する。

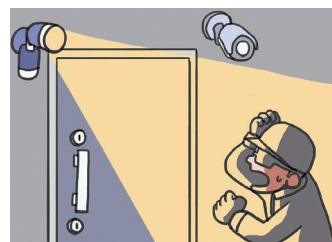


うちだ きよし
打田 清員 議員



防犯対策について

問 本市が市内各所に設置している防犯カメラは適切に運用されているのか伺う。



市長 防犯カメラについては、「西海市公共施設及び街頭防犯カメラシステム管理運用規程」及び「西海市教育委員会防犯カメラシステム管理運用規程」に基づき運用している。

問 管理運用にあたり、管理運用責任者及び取扱担当者を置く必要があるが、適正に配置しているのか伺う。

市民環境部長 それぞれの所管課において適正に配置している。

問 防犯外灯の管理状況を伺う。

西海市消防団について

問 機能別消防団員制度の導入に

向けた取組状況を伺う。

市長 長崎県下で既に制度を導入している自治体に調査をしたが、自治体ごとに採用条件や身分、活動内容や報酬など制度内容は様々であり、研究中である。今後、各自治体の動向を見極め、年度末までには制度化し、来年度から運用できるよう準備を進める。



問 ラッパ鼓隊の構成について伺う。

市長 未設置の方面団に設置の検討をお願いしているが、元から無かった組織を新たに立ち上げるのは困難との意見が上がっている。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 4回目の接種計画を伺う。

市長 6月初旬からの接種時期到来を基準として接種券等の発送を開始し、予約の受付を行っている。

問 5歳から11歳の子どもの接種について意向調査を実施する計画はないか伺う。

健康ほけん課長 アンケート方式など何らかの方法で実施したい。



わたなべ とくろう
渡辺 督郎 議員



みどりの食料システム戦略について

問 みどりの食料システム戦略は、昨年5月、農水省がSDGsや環境問題に的確に対応しつつ持続可能な食料システムを構築し、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、中長期的な視点から戦略的に取り組む政策方針として策定したものである。戦略では、2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現、化学農薬使用量（リスク換算）の50%削減、化学肥料使用量を30%削減、有機農業の取組面積の割合を25%（100万ヘクタール）まで拡大など14の目標を掲げており、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装により実現していくこととしている。本市においても、この戦略に沿った農業へ転換していく必要があると思うが、市長の考えを伺う。

市長 県が示す戦略ビジョンを基本とし、県や農協、漁協などの関係機関と連携し、情報共有を図りながら、戦



略で掲げられていた課題や社会情勢の動きに對して的確に対応していくことが必要と考えている。

問 民間団体や協議会などにも働きかけ、当該事業へ積極的に取り組む考えはないか伺う。

市長 本市と長崎市、長与町、時津町との2市2町及び県や長崎西彼農協と組織する長崎西彼地域農業振興協議会において、本年度から3か年計画でみどりの食料システム戦略推進交付金のメニューの一つであるグリーンな栽培体系への転換サポートの事業に取り組む。

問 この戦略については、農業者も消費者である市民にも知られていないことから、周知が必要である。本市の農業を画期的に持続可能な環境保全型の農業にしていく姿勢をみせるべきではないか。

市長 農業者、JAと情報を共有しながら進める必要がある。本市の将来の農業の姿を描きながら、農業政策を進めていく。



さ か た とし お
佐嘉田敏雄
議員



農業競争力強化基盤整備 事業について

問 白崎地区、小迎地区及び面高地区の基盤整備の早期完成と天久保、太田和地区の新規事業採択に向けた取組状況を伺う。

市長 事業の早期完成を図るため、県に予算の確保を要望し、事業の進捗を図っている。

問 面高地区の基盤整備事業の進捗状況を伺う。

市長 令和3年度からの繰越事業により従前地評価や基本設計を実施しており、その後、換地原案の作成、実施設計を行い、令和5年度の工事着工という計画で事業の進捗を図っている。

問 耕種農家である面高地区において、四季に合わせた作付が行われている。品目ごとに所得向上を図る産地計画を基軸として、単価・反収の向上やコストの縮減などに取り組み、生産性の高い農地の育成を図る必要がある。地域の特性、産地の構築を目指す上で貯蔵施設を備えた共同集出

荷施設の設置は必要不可欠と思うが、取り組む考えはないか伺う。

市長 面高地区基盤整備事業は、受益面積が72.4ヘクタールと規模も大きく、66.8ヘクタールが普通畑となつている。営農計画における表作裏作を合わせた作付け率は173%の計画であることから、集出荷施設の設置によるコスト縮減等の効果は高いと考える。多品目にわたつても、バランスよく利用することで生産コスト縮減を図れるのであれば、集出荷施設が整備されているほうがより得策であるとの意向も聞き及んでいる。強い農業づくり総合支援交付金や産地生産基盤パワーアップ事業等の助成制度もあることから、地域の担い手や関係耕作者の意向を伺い、関係機関と協議の上、検討していく。



脱炭素社会の実現に向けた 取り組みと進捗状況について



た がわ まさ き
田川 正毅
議員



問 江島沖洋上風力発電の進捗状況と今後の展望を伺う。

市長 本年5月31日に第3回協議会が開催され、発電事業者公募ルールとなる意見が取りまとめられた。今後国主導の下、発電事業者の公募に向けて準備が進められ、令和5年秋頃には発電事業者が決定する見込み。

問 松島火力発電所や大島造船所との企業連携の状況と課題を伺う。

市長 松島火力発電所については、石炭をガス化して燃やす技術を導入する「GENESIS松島計画」を実現するために、電源開発株式会社において環境影響評価の準備が進められ、令和6年に着工し、令和8年に運転開始の見込みと伺っている。

また、大島造船所については、去る3月24日に株式会社商船三井と共同開発を進めていた硬翼帆が公開された。硬翼帆はセンサーで風向きや風力を検知し、帆の角度や高さを自動制御するもので燃料低減が図られる。今

後、各企業と意見交換を行い、どのような連携が図られるか研究する。

森林資源を活用した緑の産業 創出の進捗状況について

問 取組状況と木材乾燥機の導入支援について伺う。

市長 森林は持続的に循環利用可能な資源のため、短期間、低コストで収益性が高いセンダンの苗木を県内最大規模の2ヘクタール植林した。木材の使用では、タイニーハウス事業の建築相談件数も増加しており、引き続き普及に努める。

また、乾燥機導入は林業発展には重要であるため、長崎南部森林組合と協議して進めたい。

西海市の防災体制について

問 自主防災組織が実施する防災訓練に対しどのように支援していくのか伺う。

市長 西海市自主防災組織防災力向上支援事業で、防災用資機材等を購入する場合に、1組織当たり1か年度につき5万円を上限として支援し、防災力の向上を図っており、今後も自主防災組織の活動についてどのような支援ができるか研究していく。



問 各行政区長から出された要望書の全てに市長が目を通していいのか伺う。

市長 各行政区から提出される要望書については、受付後、私が要望内容を見た後に所管課で状況を確認し、回答案を作成している。

令和3年度においては、123件の要望を受け付けているが、要望書への回答については、私が全て目を通してから回答している。



ひらい みつひろ
平井 満洋
議員



行政区長の要望書について



問 売却金額4543万円に對するリース料の支払総額を伺う。

市長 リース契約期間は短いもので令和5年6月まで、長いもので令和10年7月までとなっており、契約期間中のリース料支払総額は7216万7150円となっている。

売却金額4543万円との差額は2673万7150円となっております。これには、リース車両78台の車検を含むメンテナンス費用等が含まれている。

公用車のリース化について

景観法の実施について



こじま としき
小嶋 俊樹
議員



問 長崎県においては、本市を含め5自治体が景観行政団体に移行していないが、西海国立公園や里山プロジェクト、横瀬浦を中心としたキラシタンの歴史を持つ本市が移行していないのは何故か伺う。

市長 景観行政団体以外の市町の区域は、長崎県が策定した景観計画が適用されることとなり、現在、特に支障がないためである。

問 地域の特色を生かした良好な景観の保全を推進する中、人口減少が加速するなど社会情勢は変化している。昨今では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、都市部から農村への移住ニーズも高まっており、移住希望者が求める特徴ある景色や風景を守るまちづくりはSDGsの理念にも共通していることから良好な景観形成を推進するため景観行政団体に移行する考えはないか伺う。

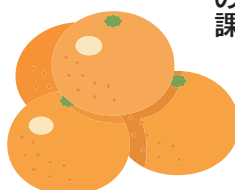
市長 良好な景観形成を推進することとは大切で、市独自の景観計画を策定することは大変有効であると考え

る。しかし景観行政団体へ移行するには、その必要性や目的など市民との共通認識が大事であり、計画策定には、現地調査や地元との協議、専従職員の配置など3年から5年程度要するため、時期を見計らって進めていきたい。

農業の将来について

問 大西海みかん部会においては、部会員の高齢化や栽培面積と出荷量の確保が将来的な課題とされている。これらの課題はみかん農家に限らず全ての農家に共通すると思われることから、基盤整備事業による課題解決の見通しはどうなっているか伺う。

市長 令和2年度から市単独事業で新規就農者支援事業において新たな担い手の確保に取り組んでいる。基盤整備事業と掛け合わせた経営基盤を強化していく中で栽培面積や生産量の確保もできると考える。



問 耕作放棄地の多面的活用として取り組んでいるオリーブやアボカドなどの新規作物の現況を伺う。

市長 オリーブやアボカドの新規作物導入をさらに推進していくことで耕作放棄地解消はもとより商品のPRによる知名度アップや市民所得の向上につなげたい。

Googleビジネスプロフィールとは、Googleが提供する情報管理ツールで、お店の情報を登録することでGoogleのマップや店舗検索により自社の情報が表示できる無料ツール

問 Googleビジネスプロフィールを活用した集客強化を図るため、市内事業者に対し、登録するための支援を
する考えはないか伺う。

市長 Googleビジネスプロフィールの活用は効果的と考える。市内事業者の普及率等について意見を伺いながら、必要に応じて既存の補助金の活用を進める。

問 高齢者向けのスマホ講座でGoogleビジネスプロフィールを活用するなど連携し普及啓発に努められ

デジタルマーケティングについて

市長 次回の募集時には市ウェブサイト以外にも広報紙でも周知を行い、制度並びにSDGsの普及啓発に努める。また、本独自の補助制度については、制度の必要性について研究していく。

SDGsについて



かた やま ともひろ
片山 智弘
議員



問 長崎県SDGs登録制度の周知及び登録事業者に対し、本市独自の補助制度等を創設する考えはないか伺う。

歴史・文化の解説サイン(看板)について

ないか伺う。
さいかい力創造部長 DX班と調整の上、ぜひ取り組みたい。

問 歴史・文化を解説するサインは、文書のための構成のものが多く、読み解きにくい。図解などを用いて分かりやすく解説するサインを追加設置できないか伺う。

教育次長 文化財の保護と正確な歴史を伝えるという観点から、今後、新たに看板を設置する際は、参考にする。

姉妹都市連携について

問 北海道広尾町と宮崎県西都市との今後の姉妹都市連携及び交流について、市長の考えを伺う。

市長 広尾町との姉妹都市提携並びに西都市との姉妹都市盟約の趣旨に基づき事業を継続したい。特に、物産交流については、将来的に民間での直接交流ができるよう調整を図っていく。



また、本年度の大鍋まつりに広尾町、西都市の皆様が訪問いただくよう調整していく。

西海市国民健康保険はりきゅう等の施設の利用に関する規則について



すぎ やま せい じ
杉山 誠治
議員



問 同規則に基づく施術料の補助対象者は、西海市国民健康保険被保険者で満40歳以上が対象となっていないが、年齢制限を設けていない市もあることから、同様に対象者を拡大できないか伺う。また、1回の施術料の補助額を500円から増額できないか伺う。

市長 本市では、西海市国民健康保険条例に基づき、保健事業の一環として、満40歳以上の国民健康保険被保険者の方に500円の鍼灸券を年間24枚交付しており、昨年度の利用率は、対象者全体の1%にとどまっている。

そこで、他の市町の実施状況を踏まえ、本市の補助条件等が県内でも低い水準であり、事業開始当初からの基準であることから、補助の拡充は制度の目的である被保険者の健康保持の面で効果が期待されるため、来年度からは年齢制限を撤廃し、後期高齢者医療制度と同様に、

松枯れ対策について

問 市内において公園、県道、市道沿いに、松の立ち枯れが目立っており、ここ数年放置されている状態である。倒木の危険もあり、枯れた松の木から、松くい虫が他の健全な松に移り、枯らしてしまうおそれがあるため、何らかの対策ができないか伺う。

市長 公園や道路沿線の枯れ松については、原則として森林所有者または管理者が対応することになるが、予防のための薬剤散布は膨大な費用が必要であるため、拡大しないよう発生した松枯れの処分を行うことが現実的だと考える。



昨年度、大島町中戸地区の中戸緑地広場においては、松枯れ木53本の伐採を行ったが、本年度も中戸地区から太田尾地区間の伐採を計画しており、今後、松枯れによる倒木などの危険や松くい虫の被害拡大を防止するため、早急な対応を図る。



と う ら よ し ひ こ
戸 浦 善 彦
議 員



人口減少・少子高齢化による 介護人材不足について

問 人材不足解消に向け、即効性が期待できる施策に取り組むべきと考える。

例えば他自治体では、介護人材の安定的な確保と移住定住を促進するため、市内の介護サービス事業所に就職するU・I・ターン者に就職奨励金や家賃補助、資格取得に係る費用補助などを実施しているが、本市でも取り組む考えはないか伺う。

市長 介護人材不足は深刻な状況だと認識している。今後、社会福祉協議会や西海市福祉施設連絡協議会等と協議を重ね、現場の意見を聞きながら、どのような支援が望ましいのか検討していく。

人口減少・少子高齢化により 増加する空き家の活用について

問 市内への移住及び定住を目的とした空き家の改修を行う個人に対して、空き家活用移住定住促進事業補助金を交付しているが、民間企業が人材確保の手段として行う空き家の改修など、西海市の活性化にもつなげる目的で活用する場合には、当該補助金の対象となるよう、制度を見直す考えはないか伺う。

市長 市内への移住定住につながる一つの施策として、また、民間企業の人材確保につながる施策としても有効であると考えるので、制度設計を十分に検討した上、制度の拡充による定住促進について前向きに取り組んでいく。



市議会提出議案を西海市HPで閲覧できます!!

- ホームから【組織から探す】→【総務課】→【市政・まちづくり】→【市の政策】→【行政・政策】→【市議会提出議案】
- または、ホームのキーワードで探す「市議会提出議案」で検索。
- 右のQRコードからも開くことができます。





常任委員会調査報告



総務文教常任委員会 所管事務調査報告

調査事件

市内にある3件の国指定文化財等（国指定史跡ホゲツト石鍋製作遺跡、国指定重要文化財西海橋及び国指定天然記念物七釜鍾乳洞）に係る対象史跡や建造物、景観等の保護に関する現状と課題並びに観光資源としての活用に関する連携その他今後の展望等について

調査日

令和4年5月12日（木）

経過

令和4年第1回定例会の議案審査において、岩盤崩落した国指定史跡ホゲツト石鍋製作遺跡の今後の保存計画策定の説明を受けたことから、国指定文化財等である西海橋及び七釜鍾乳洞を含め、今後の保存の在り方と観光資源としての利活用推進に資する連携を目的に調査を行った。

調査結果

ホゲツト石鍋製作遺跡は、昭和56年に国の史跡に指定され、これまで11の工房が確認されているが、そのうち最大規模の第6工房において令和3年3月に崩落が確認され、現在は立入りを禁止している。今後、保存活用計画の策定及び小学生を対象

とした石鍋製作の歴史などの体験学習を計画している。

西海橋は、昭和30年に我が国初の海峡横断橋として竣工、令和2年12月に重要文化財に指定されたが、所有者は長崎県である。今後、県において保存活用計画の策定が予定されており、市は活用案を提言していく。

七釜鍾乳洞は、長崎県唯一の鍾乳洞で、昭和11年12月に国の天然記念物に指定を受けた本市を代表する観光名所。平成24年度に保存管理計画（現在の保存活用計画）を策定し、本計画に基づき、保護を行っている。

まとめ

3つの国指定文化財等について、共通して言えることは文化財の価値発信の不足である。今後、も当委員会では保存活用計画やそれに基づく具体的な進捗状況等を適宜調査する。



総務文教常任委員会

産業建設常任委員会 所管事務調査報告

調査事件

大村湾におけるカキの生育不良の現状と今後の対策について

調査日

令和4年5月18日（水）

経過

生産量及び生産額が激減している大村湾におけるカキ養殖の現状と課題、及びその対応策について西海ブランド振興部ふるさと資源推進課から説明を受け、各委員から質疑を行った。

調査結果

西彼町漁協からの依頼により、令和3年12月に長崎県による漁場調査が実施され、以後、その調査結果を元に、長崎県、西海市、西彼町漁協による意見交換や学習会が実施されている。同年4月に実施された意見交換会では、県から、水質や水温等の過去のデータがなく、養殖手法が生産者毎に感覚的に行われている現状を踏まえ、モニタリング調査等を生産者自らが実施して把握し、生産に生かすことが重要であるとの指摘があった。現在、漁協及び生産者によるモニタリング体制づくりが進行中であり、県による漁場調査も今後継続される予定である。

また、県や市による今後可能

性のある対策案として、中間育成員の導入支援、新たな漁場の開拓及び生産規模の拡大等による生産性向上対策、シングルシード式養殖による新技術の導入、他種貝養殖の導入による多角経営化などが示されている。

まとめ

今後の対策案は、いずれも漁協及び生産者による主体的な取り組みが前提となるが、市において後継者を育成する取組みを並行しながら、今後も事業存続のため、サポートしていただきたい。

また令和4年第2回市議会定例会に提出された議案第37号「令和4年度一般会計補予算第2号」において240万円が計上された、カキ種購入費用の補助を行う「カキ養殖事業継続緊急支援事業」の実施は、事業存続のために必要と理解するが、緊急支援事業の実施基準等を明確し、政策形成における説明責任を果たせるよう取り組んでいただきたい。



全国市議会議長会 表彰状伝達式

第98回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より一般表彰として、市議会議員在職15年以上で小嶋俊樹議員が表彰され、その表彰状伝達式が6月24日の本会議終了後に行われました。

〔一般表彰〕

議員15年以上 小嶋 俊樹 議員



写真中央が小嶋俊樹議員



令和3年度 政務活動費収支実績一覧

「西海市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、当該会派の所属議員数に月額15,000円を乗じた額を1か月分として、会派に対し毎年交付しています。

(単位：円)

会派名	① 西海市議会 日本共産党	② 令政会	③ 創生会	④ 新・真済の会	⑤ 眞風会	⑥ 吉粒会 (交付申請なし)	⑦ 志政会 (交付申請なし)
収 入							
①政務活動費交付金	165,000	165,000	1,320,000	495,000	165,000	0	0
②その他(通帳作成時入金)	0	500	0	1,000	1,000	0	0
③計(①+②)	165,000	165,500	1,320,000	496,000	166,000	0	0
支 出							
④調査研究費	3,834	0	0	0	0	0	0
⑤研修費	5,959	0	0	114,006	0	0	0
⑥広報費	143,404	0	0	0	0	0	0
⑦広聴費	10,655	0	0	0	0	0	0
⑧要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
⑨会議費	0	0	0	0	0	0	0
⑩資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
⑪資料購入費	0	0	0	8,514	36,113	0	0
⑫人件費	0	0	0	0	0	0	0
⑬事務所費	0	0	0	0	0	0	0
⑭その他(通帳作成時入金分の出金)	0	0	0	1,000	0	0	0
⑮計(①~⑭)	163,852	0	0	123,520	36,113	0	0
⑯⑮のうち、政務活動費計(①~⑩)	163,852	0	0	122,520	36,113	0	0
⑰残額(③-⑯)	1,148	165,500	1,320,000	372,480	129,887	0	0
⑱⑰のうち、政務活動費返還額(①-⑩)	1,148	165,000	1,320,000	372,480	128,887	0	0

市議会からのお知らせ

西海市議会に関する各種情報を公開しています。

●議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信(ライブ及び録画)を行っています。市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧いただけます。ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2~3週間程度でご覧いただけます。



●議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。



●西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1: 場所/本会議場(西海市役所本庁舎3階)
- 2: 人数/60人まで(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴人を制限する場合があります。)
- 3: 受付場所/本会議場前傍聴受付
 - ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
 - ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。



「少子化による部活動問題」

西海市立大瀬戸中学校

三年 永井 心和

今、全国的に学校でできる部活動の種類が減っています。なぜ、自分がやりたい部活動ができないのでしょうか。

私は四月に家庭の事情で大瀬戸中学校に転入しました。以前の学校は、全校生徒が四百人いるような学校で、部活動もたくさんありました。私は、バレーボール部に所属しており、中総体に向けて日々練習していました。でも、大瀬戸中学校にはバレーボール部がなく、中学校生活最後の中総体に出場することができませんでした。

私だけではなく、西海市の中学校は生徒数が減少し、皆の希望を叶えるだけの部活動を行う

ことができません。また、したい部活動があったとしても、部員数が少なく、試合に出られなかったり、休部や廃部の危機があったりします。地元の高校ではしたい部活動ができない、という理由で、進学先を市外の高校にする生徒も珍しくありません。

今、「公立中学校の部活動を民間のスポーツクラブなどの地域に任せる」という提言が国から出ています。地域に任せることで、生徒がしたいスポーツができ、技術面の向上や地域の人々との交流ができます。学校外での活動で、今まで以上に成長することが期待できる一方で、指導者や練習場所の確保、運営にかかる費用など、心配される面もあります。私は、西海市全体でスポーツごとにクラブチームを作り、施設や移動、指導料など必要な費用を市や県が負担することで、スポーツを楽しむ、全国的な大会でも活躍する選手が育つのではないかと思います。

日本の少子化の波は、簡単に途切れることはなく、未来に向けて、これまでの方法にこだわらず今の状況でできることを考



え、実施していくことが大切だと私は思います。生徒が、目標に向かって、安心して部活動ができる環境を地域につくってほしい……そうすることで、仲間と競い合って力を伸ばし、楽しくスポーツができるようになると思います。





令和4年5月 No.65

大崎小学校が開校し、
1人でも多くの子ども
たちが学んでいくこと
を嬉しく思っております。

(大島町 70代女性)



西海市の大切な財産
である長崎オランダ村
施設について私たち市
民はどうなるのか大変
気がかりです。

(西彼町 70代女性)

西海市大好きです!!
西海市の良さをもっと
たくさんの人に知って
ほしいです。「食べてよ
し!住んでよし!育て
てよし!介護よし!西
海市」

(大島町 60代女性)

議員の皆様お疲れ様
です。編集後記は普通
ではなく、良い出来栄
です。次回を楽し
みにしております。

(大島町 60代男性)

議会だよりにクイズ
がある事を知りませ
んでした。QRコードで
募しやすいし、若い人
たちが市議会にもと
味を持ってくれたら
いいなと思いました。

(西彼町 50代男性)



市外に住んでいます
が、祖父の家に行っ
た際に読ませていた
だきました。西海市
の議会で行われて
いることがわかり
やすく書かれてお
り、私のような詳し
くない人にも伝わり
やすかったです。

(時津町 20代女性)



近日子供が生まれるので、
子育て支援策がより充
実化していくと有難
いと思います。

(西海町 30代男性)



編集後記は普通以上
に考えさせられる話だ
と思います。

(大島町 40代女性)



郵便はがき

8572392

郵送される
場合は63円
切手を貼っ
て下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第66号)



裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ! 議会だよりを
よく読んで解答してね!



第22回西海市議会クイズ

(1) 市政一般質問を行った議員は何人？

- ① 13人
② 12人
③ 11人

(2) 令和4年第2回議会定例会の会期は何日？

- ① 22日
② 15日
③ 13日

(3) 令和4年度西海市一般会計補正予算(第2号)の議案番号は？

- ① 議案第37号
② 議案第35号
③ 議案第21号

(4) 全国市議会議長会表彰伝達式で表彰された人数は？

- ① 1人
② 3人
③ 2人

応募方法

はがき、FAX、メール、入力フォームにて、住所氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

※はがきは、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へ提出いただけます。

応募先

〒857-2392
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷222番地

〈FAX〉

0959-3710226まで

〈メール〉

rikai@city.sakai.lg.jp

〈入力フォーム〉スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き、応募ができます。



締切

令和4年9月9日(金)消印有効(9日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

〔個人情報取り扱いについて〕

ご記入いただきました個人情報、商品発送などの目的以外には利用いたしません。

第21回西海市議会クイズ解答

- (1)③ (3)②
(2)② (4)③

応募総数13名(正解者13名)

編集後記

「日常生活の中の、いい音」
日常には、色んな音がある。水が流れる音、風の音、波の音、人間の足音、人間の話し声、車の音、テレビの音、刈払機のエンジン音、シャッターの音、まな板の上で野菜を切る音、楽器の音など、自然の音から人工的な音まで様々ある。心地よく聞こえる音もあれば、耳障りになる音もある。しかし、人間が生活する中で必要不可欠な音は、そう考えると耳障り音も感覚を変えて聞くといい音に聞こえて来る。皆様の周りには、どんな音がありますか？じつと目を閉じて聞いてみてください。聞こえて来る音の意味を考えると、きつと「いい音」に聞こえて来る事でしょう。この原稿も以前は鉛筆で書く「こつこつ」という小気味よい音が聞こえていましたが、今はパソコンのキーの音に変わってしまいました。今日の技術革新の中、様々な音にも大きな変化が起きているのでしょうか…

(打田 清 委員)



議会広報広聴委員会

第22回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

ふりがな

氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。



議会だより

No.66

令和4年
8月5日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。